資料２

春日井市水道事業経営戦略
進捗状況

令和3年度(2021年度)

目　次

１　令和３年度事業進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２　財政計画進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

３　計画指標進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

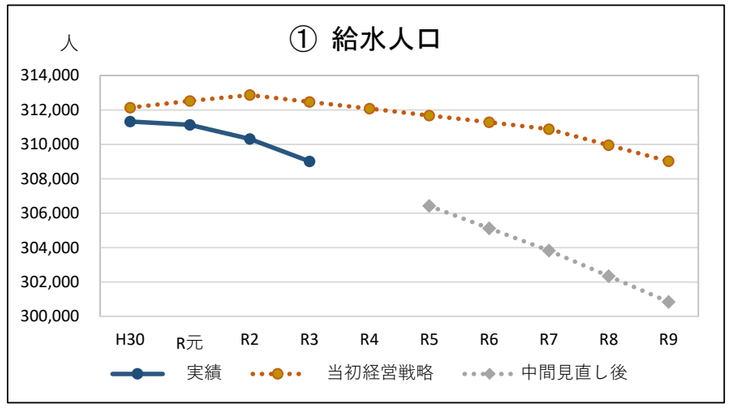
４　今後の主な事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

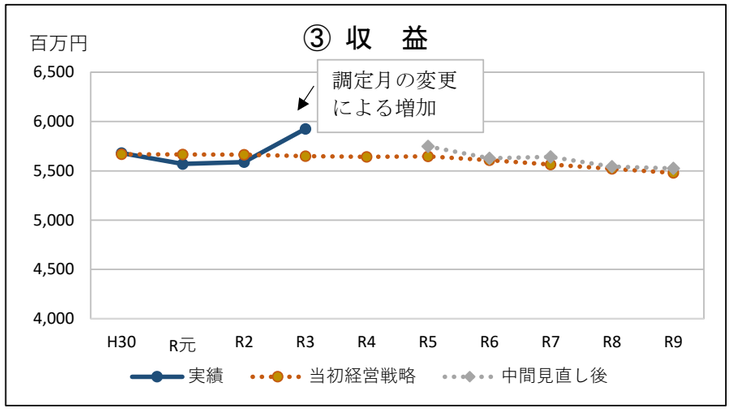
１　令和３年度事業進捗状況

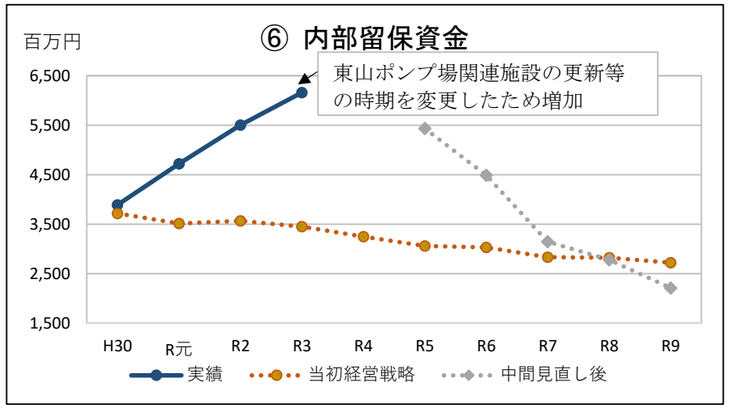
体　系	内　　容
１ 安全	・水質検査計画の改訂 ・水安全計画の改訂 ・直結給水の推奨
２ 強靭	・老朽化更新　管路 8,891.05ｍ（玉野町　他） ・耐震化　管路1,932.60ｍ （庄名ポンプ場～高蔵寺高区配水場　他） ・地震等の災害に備え、日本水道協会中部地方支部による情報伝達訓練に参加
３ 持続	・水道管路整備計画の作成 ・東山ポンプ場整備　基本設計 ・上下水道情報システムの再構築 ・遊休土地の売却検討 ・愛知県広域化研究会に参加 ・水源水中ポンプのインバータ機能増設（町屋第３水源） ・上水道施設ＬＥＤ照明器具借上（10年リース） ・漏水調査範囲の拡大（７年計画：２年目）

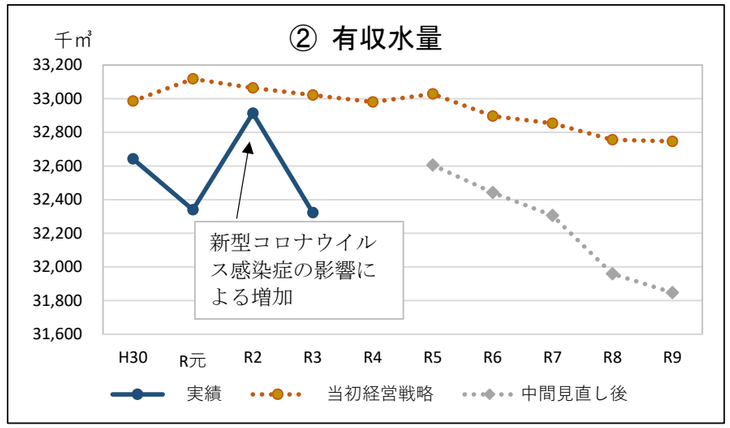
２　財政計画進捗状況

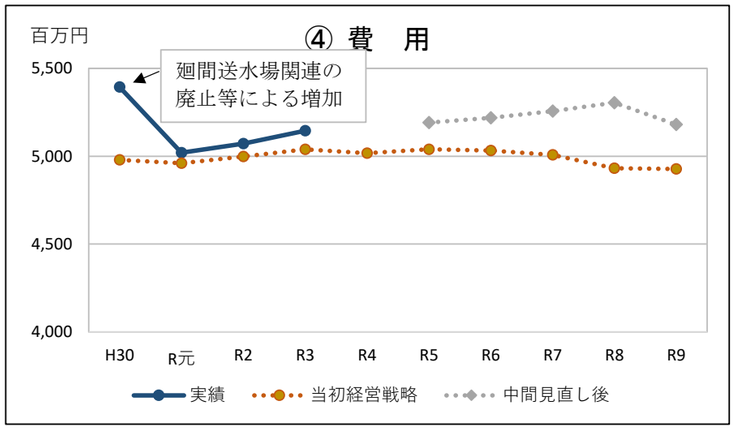
①給水人口は、令和３年度を境に減少すると見込んでいたが、令和元年度から減少している。
②有収水量は、給水人口の影響で計画よりも減少傾向であり、令和２年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一時的に増加したものの、令和３年度は減少している。
③収益は、有収水量の減少により給水収益が減少したが、調定月の変更により過年度損益修正益を計上したため、見込みを上回っている。
④費用は、上下水道情報システム再構築の費用等が増加したため、見込を上回っている。
⑤経常損益は、給水収益の減少及び費用の増加により見込みを下回っている。
⑥内部留保資金は、投資計画を見直し、東山ポンプ場関連の更新工事等を先送ったことにより増加している。

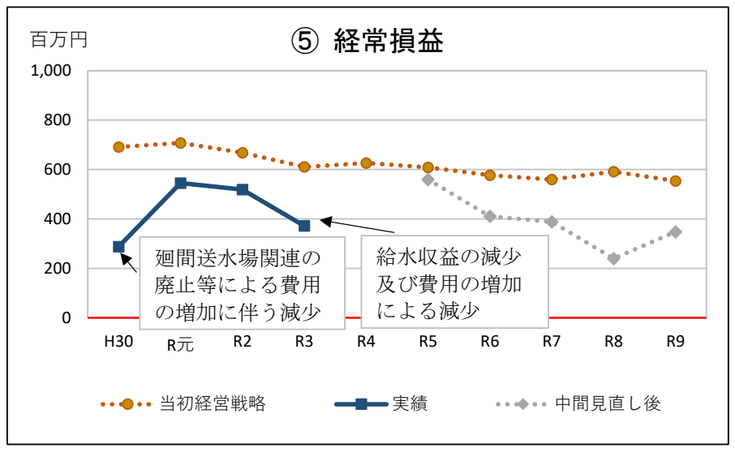












収益的収支

（単位：千円）

区分＼年度	平成30年度（2018年度）決算	令和元年度（2019年度）決算	令和２年度（2020年度）決算	令和３年度（2021年度）経営戦略	令和３年度（2021年度）決算	令和３年度（2021年度）差	令和４年度（2022年度）経営戦略
収益的収入	5,679,687	5,564,430	5,587,536	5,648,700	5,515,225	△ 133,475	5,641,136
営業収益	4,672,635	4,615,447	3,872,860	4,721,806	4,559,921	△ 161,885	4,715,857
給水収益	4,656,496	4,601,788	3,859,347	4,706,956	4,541,952	△ 165,004	4,701,007
受託工事収入	0	0	0	110	221	111	110
その他営業収益	16,139	13,659	13,513	14,740	17,748	3,008	14,740
営業外収益	1,007,052	948,983	1,714,676	926,894	955,304	28,410	925,279
受取利息	397	499	499	140	631	491	120
他会計補助金	2,418	2,194	762,773	1,024	2,256	1,232	1,024
分担金	151,701	168,992	145,841	191,350	194,907	3,557	189,456
長期前受金戻入	743,702	661,519	686,248	617,961	622,703	4,742	603,760
雑収益	108,834	115,779	119,315	116,419	134,807	18,388	130,919
収益的支出	5,391,663	5,019,139	5,068,203	5,037,542	5,143,234	105,692	5,014,742
営業費用	5,316,921	4,953,113	5,010,786	4,995,900	5,095,255	99,355	4,981,677
原水及び浄水費	2,029,643	2,064,616	2,027,825	2,044,005	2,027,075	△ 16,930	2,086,291
配水及び給水費	527,953	508,343	581,036	625,817	579,621	△ 46,196	594,600
受託工事費	0	0	0	100	200	100	100
業務費	395,939	438,605	420,549	506,930	582,769	75,839	470,858
総係費	103,574	100,524	96,106	116,022	97,415	△ 18,607	121,706
減価償却費	1,861,676	1,777,579	1,764,295	1,635,962	1,757,273	121,311	1,639,724
資産減耗費	398,136	63,446	120,975	67,064	50,902	△ 16,162	68,398
営業外費用	74,742	66,026	57,417	41,642	47,979	6,337	33,065
支払利息	74,131	65,475	56,551	41,142	47,351	6,209	32,565
雑支出	611	551	866	500	628	128	500
経常損益	288,024	545,291	519,333	611,158	371,991	△ 239,167	626,394
特別利益	0	5,895	0	0	410,094	410,094	0
固定資産売却益	0	5,895	0	0	0	0	0
過年度損益修正益	0	0	0	0	410,094	410,094	0
特別損失	1,556	836	3,796	2,000	1,358	△ 642	2,000
過年度損益修正損	1,556	836	3,796	2,000	1,358	△ 642	2,000
特別損益	△ 1,556	5,059	△ 3,796	△ 2,000	408,736	410,736	△ 2,000
当年度純損益	286,468	550,350	515,537	609,158	780,727	171,569	624,394

資本的収支

（単位：千円）

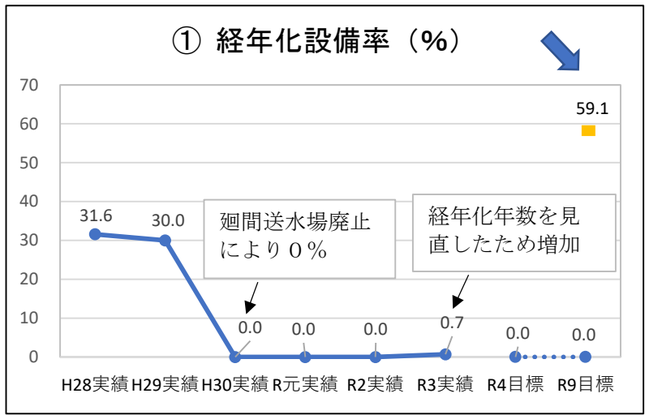
区分＼年度	平成30年度（2018年度）決算	令和元年度（2019年度）決算	令和２年度（2020年度）決算	令和３年度（2021年度）経営戦略	令和３年度（2021年度）決算	令和３年度（2021年度）差	令和４年度（2022年度）経営戦略
資本的収入	333,594	551,713	553,548	110,050	216,053	106,003	110,050
負担金	12,778	9,024	9,302	7,950	12,208	4,258	7,950
負担金	12,778	9,024	9,302	7,950	12,208	4,258	7,950
固定資産売却代金	0	336	0	0	0	0	0
固定資産売却代金	0	336	0	0	0	0	0
工事収入	120,816	342,353	344,246	102,100	203,845	101,745	102,100
工事収入	120,816	342,353	344,246	102,100	203,845	101,745	102,100
分担金	0	0	0	0	0	0	0
分担金	0	0	0	0	0	0	0
他会計貸付金返還金	200,000	200,000	200,000	0	0	0	0
一般会計貸付金返還金	200,000	200,000	200,000	0	0	0	0
資本的支出	775,849	1,445,738	1,485,297	1,921,481	1,527,141	△ 394,340	2,041,211
建設改良費	462,125	1,123,358	1,153,993	1,619,363	1,186,637	△ 432,726	1,741,158
整備事業費	432,517	1,089,717	1,123,991	1,590,853	1,107,412	△ 483,441	1,706,922
固定資産購入費	29,608	33,641	30,002	28,510	79,225	50,715	34,236
企業債償還金	313,724	322,380	331,304	302,118	340,504	38,386	300,053
企業債償還金	313,724	322,380	331,304	302,118	340,504	38,386	300,053
資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額	442,255	894,025	931,749	1,811,431	1,311,088	△ 500,343	1,931,161
補填財源	442,255	894,025	931,749	1,811,431	1,311,088	△ 500,343	1,931,161
過年度損益勘定留保資金	442,255	864,025	637,325	1,811,431	760,737	△ 1,050,694	1,931,161
当年度損益勘定留保資金							
建設改良積立金		30,000	294,424		550,351	550,351	
内部留保資金残額	3,889,836	4,722,080	5,504,890	3,448,891	6,160,002	2,711,111	3,246,486
企業債残高	2,693,546	2,371,165	2,039,861	1,432,500	1,699,357	266,857	1,132,447

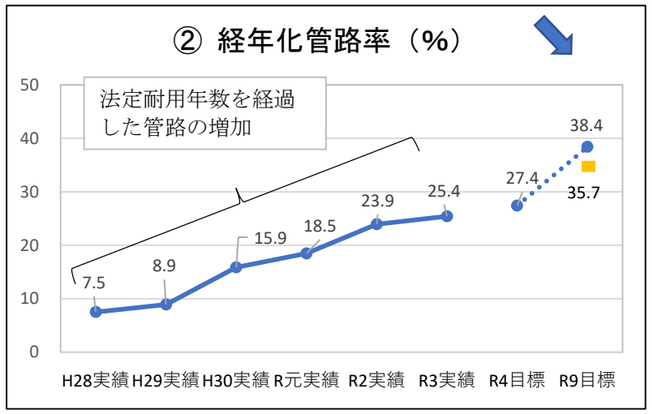
3　計画指標進捗状況

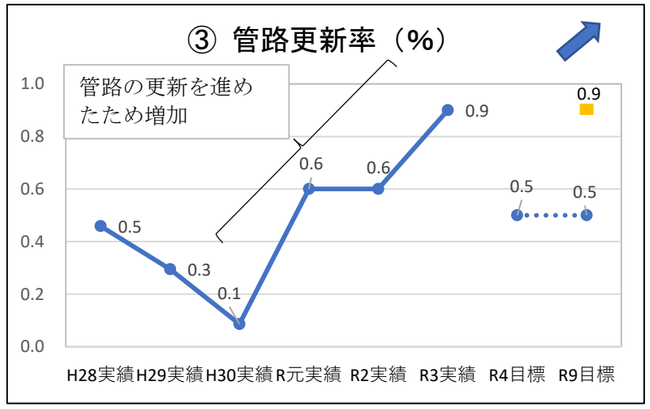
※　グラフ中、矢印（ ➡ ）は、望ましい方向
※　グラフ中、■は中間見直し後の目標値

・施設について、①経年化設備率は、経年化年数を「更新基準」から「耐用年数」に見直したことにより0.7%となり、④浄水施設耐震率・⑤配水池耐震施設率は100%で、平成30年度の廻間送水場廃止に伴い、目標達成となっている。
・管路については、②経年化管路率は目標を下回り、③管路更新率・⑥基幹管路の耐震適合率・⑦基幹管路の耐震化率は目標を上回っている。

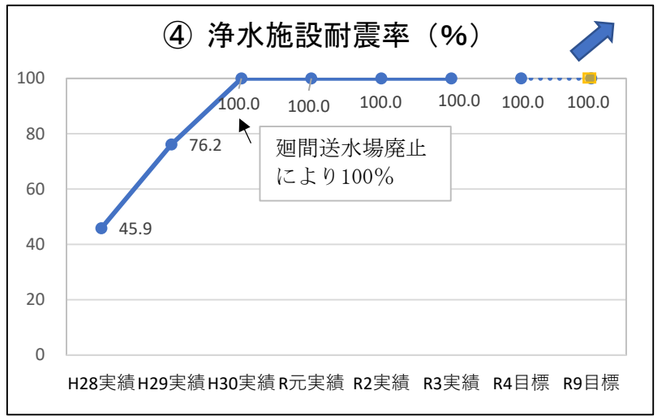
水道施設の計画的更新

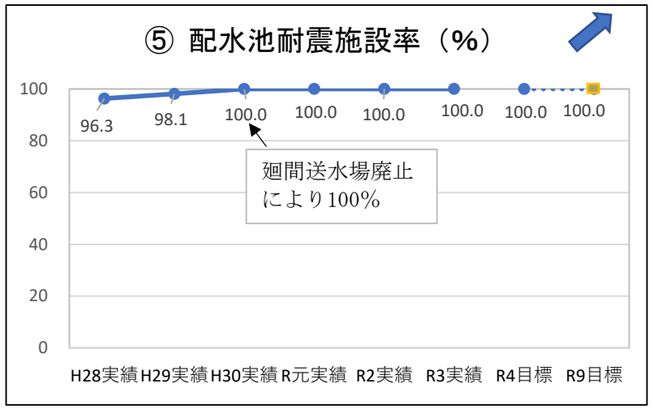


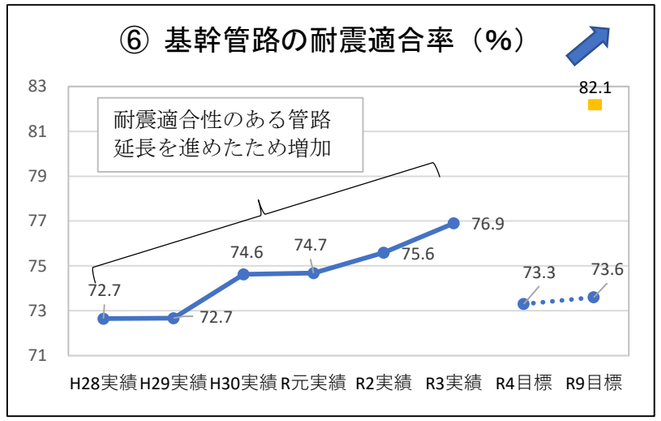


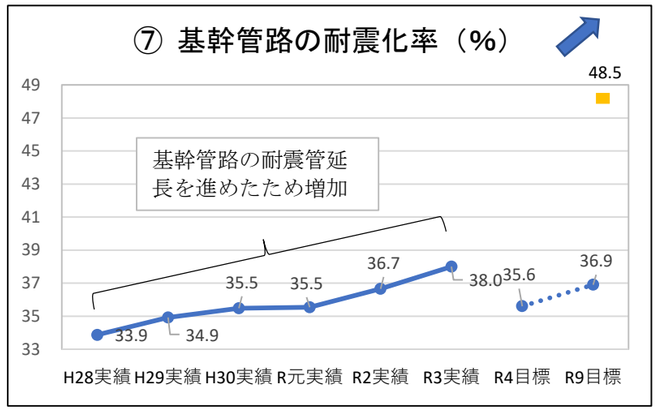


水道施設の耐震化









（単位：%）

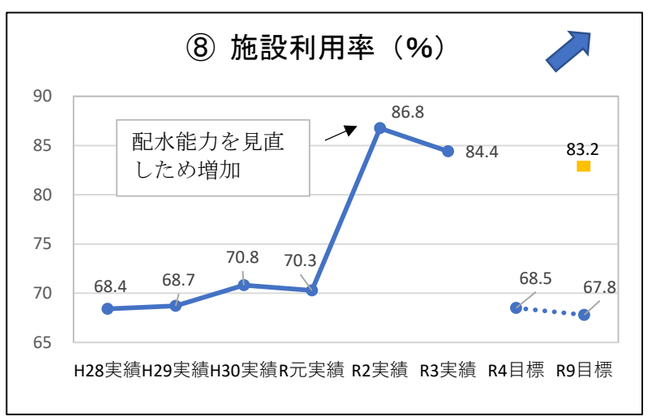
指標	説明	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	R3実績	R4目標	R9目標
①経年化設備率	法定耐用年数を経過した電気・機械設備数 ／ 電気・機械設備数	31.6	30.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0
②経年化管路率	法定耐用年数を経過した管路延長 ／ 管路延長	7.5	8.9	15.9	18.5	23.9	25.4	27.4	38.4
③管路更新率	当該年度に更新した管路延長 ／ 管路延長	0.5	0.3	0.1	0.6	0.6	0.9	0.5	0.5
④浄水施設耐震率	耐震対策の施されている浄水施設能力 ／ 全浄水施設能力	45.9	76.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑤配水池耐震施設率	耐震対策の施されている配水池有効容量 ／ 配水池有効容量	96.3	98.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
⑥基幹管路の耐震適合率	耐震適合性のある管路延長 ／ 基幹管路の延長	72.7	72.7	74.6	74.7	75.6	76.9	73.3	73.6
⑦基幹管路の耐震化率	基幹管路の耐震管延長 ／ 基幹管路の延長	33.9	34.9	35.5	35.5	36.7	38.0	35.6	36.9

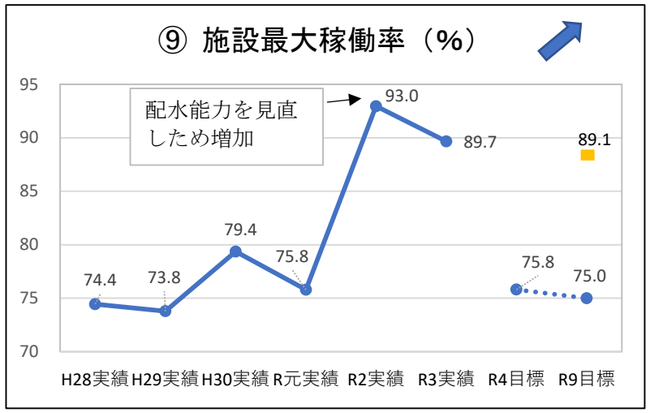
※　グラフ中、矢印（ ➡ ）は、望ましい方向

※　グラフ中、■は中間見直し後の目標値

・⑧施設利用率・⑨施設最大稼働率は、令和２年度に配水能力を見直したことにより増加したが、令和３年度は１日平均配水量、１日最大配水量の減少によりそれぞれ減少している。

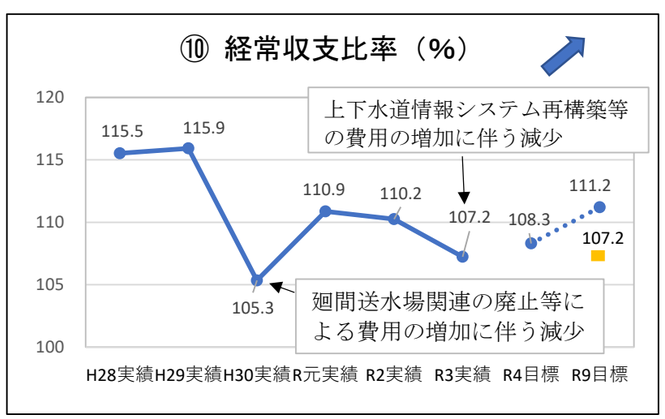
将来を見据えた適正な施設の検証

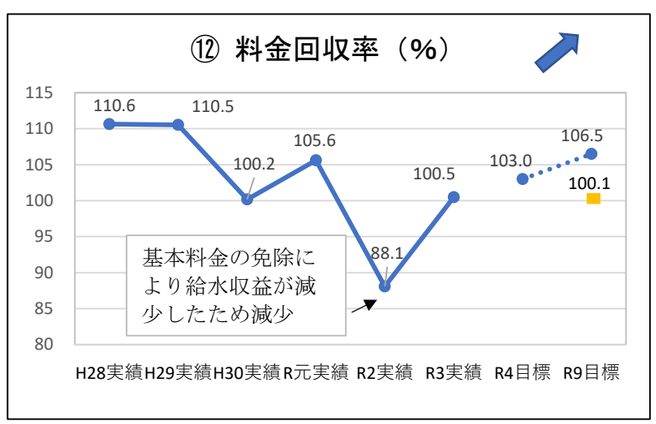


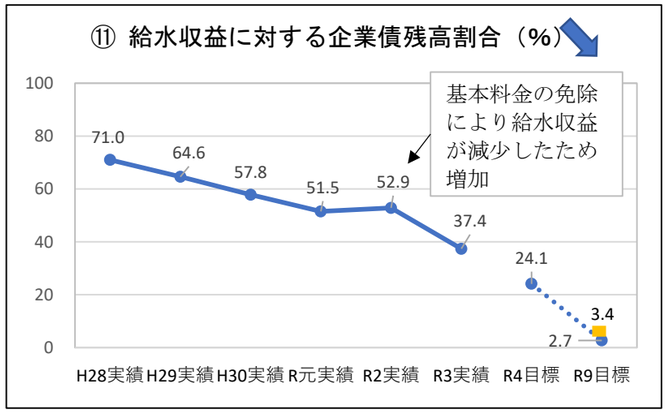


・⑩経常収支比率の令和３年度については、給水収益が減少及び上下水道情報システム再構築の費用等が増加したことにより令和４年度の目標を下回っている。
・⑪給水収益に対する企業債残高割合は、現在、企業債の借入を行っていないため減少している。
・⑫料金回収率の令和３年度については、給水収益が減少及び費用の増加により目標を下回っている。

収益の確保と経費の削減







（単位：%）

指標	説明	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	R3実績	R4目標	R9目標
⑧施設利用率	１日平均配水量 ／ １日配水能力	68.4	68.7	70.8	70.3	86.8	84.4	68.5	67.8
⑨施設最大稼働率	１日最大配水量 ／ １日配水能力	74.4	73.8	79.4	75.8	93.0	89.7	75.8	75.0
⑩経常収支比率	営業収益＋営業外収益 ／ 営業費用＋営業外費用	115.5	115.9	105.3	110.9	110.2	107.2	108.3	111.2
⑪給水収益に対する企業債残高割合	企業債残高 ／ 給水収益	71.0	64.6	57.8	51.5	52.9	37.4	24.1	2.7
⑫料金回収率	給水収益 ／ 営業費用＋営業外費用－長期前受金戻入	110.6	110.5	100.2	105.6	88.1	100.5	103.0	106.5

４　今後の主な事業概要

令和４年度事業概要

体　系	内　　容
１　安全	・水質検査計画の改訂 ・水安全計画の改訂 ・直結給水の推奨
２　強靭	・老朽化更新　管路（高蔵寺町　他） ・耐震化　管路 （市民病院～西部ふれあいセンター　他）
３　持続	・東山ポンプ場整備　実施設計 ・上水道施設中央監視設備更新工事　基本設計 ・遊休土地の売却検討 ・引越ワンストップサービスの導入によるサービスの向上 ・水源水中ポンプのインバータ機能増設 （知多第６水源） ・送水ポンプの運転時間帯調整によるデマンドレスポンスの実施（ゼロカーボン推進） ・漏水調査範囲の拡大（７年計画：３年目） ・愛知県広域化研究会に参加